

- 16人が一般質問……………P2～P10
- こんなことが決まりました……………P11
- 委員会の活動報告……………P12～P13
- 反対VS賛成……………P14～P15
- トピックス……………P16～P17
- 市民の声……………P18～P19
- クイズの当選者……………P20

一般質問

あなたの声を市政に

9月11・12日に16人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。



伊藤 弘美

藤原町の
水源地水汲み場付近で落石
～早急に水汲み場の移設を～

【質問】 水汲み場へは、連日、早朝より市内外から大勢の方が訪れ、行列で順番を待たねば汲むことができないほどの大好評である。その人数は1日300人とも500人とも言われる。

『地中約300mの湧水』、『美味しい清涼水』とうたわれる藤原の名水は、いなべのブランドにもなっている。

しかし、6月末に落石が起きた。山頂から大きな石がガサガサと音を立て、水汲み場に乗り入れていたワゴン車の上を飛び越えて落ちてきた。また、同じとき、後の7月の4号台風で土石流が発生した箇所にも落石があった。今回は危機一髪で災難を免れたが、運が悪いと大惨事になっていたであろう。

市は早急に「進入禁止」・「通行止」の措置をとったが、それにもかかわらず、水を汲むために進入される人がある。現在の場所では危険である。犠牲者が出る前に安全で安心して水の汲み取りができる場所へ移設すべきと考えるがいかがか。

【水道部次長】 水汲み場は、平成13年頃、旧藤原町時代に設置したものである。については、市職員が年数回の水質検査に出向いている。

当所は山が急勾配で、落石によりガードレールが損傷したこともある。現在の場所は危険であり、300m手前の新貝橋を渡って左折したところにある「中部電力変電所の開閉所の周辺」が安全な場所と考えている。今後は、その場所への移設に向け、関係部局や地元自治会と調整しながら進めたい。

【再質問】 早急に着工してもらいたい、いつ頃になるのか。

【水道部次長】 10月中には着工できるよう進めたい。



岡 英 昭



1. 国民年金の記録問題
2. 市の関係諸団体への補助金や助成金の効率的な見直しを
3. 「全国学力テスト」の結果公表は慎重に

【質問1】 国民年金の記録不備が問題となっているが、①本市においても年金記録の不備はあるのか。②市への照会は何件あったのか。③「手書台帳」の保管状況は。

【市民部長】 ①昭和36年から平成14年3月までは国からの法定受託事務として、旧4町において適正に処理を行っていた。そのため記録不備はない。②社会保険事務所から本市へ情報提供依頼があった件数は、8月末現在で25件。③旧藤原町分以外は残っている。ただし、電算システムを使えば旧藤原町分も見ることができる。

【質問2】 補助金や助成金を交付している市の関係諸団体数は。

【企画部長】 平成19年度においては、社会福祉協議会、商工会などの126事業につき交付。

【質問3】 「全国学力テスト」は約90億円の巨費を投じ行われた。しかし、今回のテストでは、学校ぐるみで点数アップを図るなどの不正も発覚。学校の序列化や学校選択制のあり方といった問題にも大きな影響を与えた。本市においては、この学力テストの結果公表を控えるべきではないか。

【教育長】 いなべ市教育委員会としては、学校間競争や序列化につながる恐れがあるため、学校等の公表はしない。ただし、いなべ市における児童・生徒の全体の学力傾向や生活と学力との関係性については公表し、教育の向上に役立てたい。



川崎智比呂



日冲市政の
4年間の総括は

【質問】 いなべ市合併後の日冲市政4年間における総括として ①苦勞と感じたこと ②誇れる施策 ③市としての課題 ④市長が描くいなべ市のビジョンにつき伺う。

【市長】 いなべ市が誕生して4年。大きな混乱もなく経過したことは、議員をはじめ市民の皆さんのご協力の賜物と深く感謝申し上げる。合併当初、市の方針として、「特色ある地域づくり」・「市民が主役のまちづくり」・「市役所の構造改革」の3つを大きな柱に掲げ、現在まで行政を運営してきた。

①地域性や過去の経緯を加味しながら、統一感を醸成することと、全国でも屈指の市となるよう、職員の士気を上げることであった。②全国的にも先駆けとなった総合窓口の導入など数々ある。③今後の残る課題は、地域性を加味しながら、市としての統

一感を醸成していくこと。また、「いなべ」という名前のブランド化が必要であると考えている。④いなべ市の将来像としては「いなべ」の良さや可能性を多くの方に知っていただき、新たな投資を行うとともに「新たな可能性に挑戦する人材が集えるまちづくり」をめざしたい。そして、それとともに「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」をめざしたい。そのための施策としては「インフラの整備」・「財政基盤と雇用の安定」・「農業の近代化」・「人材の確保と育成」・「支え合えるまちづくり」が必要である。これらの点が、いなべ市の課題である。課題が解消していけば、より素晴らしいまちになる。





出口 正

1. 旧国道306号線の「青川橋」は安全か
～麓村地区と丹生川上地区を結ぶ～
2. 「水サミット」開催を
機会に環境保護の啓発を

【質問1】 「青川橋」は、昭和47年に改築され、35年が経過した。老朽化により、現在では、コンクリートの多くに「ひび割れ」・「はく離」・「伸縮継手破損」などが見られる。防災面、安全面からも橋梁の整備は極めて重要である。そこで、今後の補修計画につき伺う。

【建設部長】 「青川橋」の点検は、平成9年度に「道路防災総点検」の中で実施。平成11年度には「橋梁耐荷力調査」を行った。なお、平成17年11月には「伸縮継手部分の交換工事」を実施。現在のところ、落橋の可能性はないが補強が必要。そのため、財源の確保を要する。今後は、補助事業などを模索し、施工性と経済性を検討の上、進めていきたい。

【質問2】 新しい水辺空間の創出をテーマとした「水サミット」が、10月6日に、いなべ市で開催される。これを機会に、川の汚れを防止し、貴重な自然を後世に残していくため、環境教育と環境保護対策を積極的に推し進めてはいかか。

【まちづくり部長】 「水サミット」は、環境生態学や土木工学などの研究者、水辺環境保全に取り組む団体、行政機関が意見を出し合い、水辺環境の保全に対する新たな取り組みを考え、提示し、これからの環境保全に寄与する機会になると考えている。豊かな水、水辺の生態系を後世に伝えるため、今後も啓発活動に取り組んでいきたい。



旧国道306号線の青川橋



小林 俊彦

1. 鈴鹿山系登山道の整備は
～竜ヶ岳、藤原岳
安全な登山道の維持を～
2. 自動車騒音の対策を

【質問1】 8月上旬、竜ヶ岳・鎌ヶ岳において遭難事故が発生した。原因は登山道からの転落（滑落）である。そこで、登山道の安全確認・補修はどのようにして行っているのか伺う。

【農林商工部次長】 藤原岳は「藤原山荘運営委員会」が主となり、山荘および登山道の維持管理を行っている。竜ヶ岳は、宇賀溪からの登山道については「地元森林組合」が維持管理をしている。

なお、登山道に関する情報を得るため、登山道入口付近で下山者から情報を聴取。危険箇所については、通行禁止にしたり、注意看板などを設置。

登山道の大規模な修復については、市へ相談いただきたい。また、小規模な修復は山の現状を維持するため、迂回路などで対応していきたい。

【質問2】 市内の幹線道路沿いの家では、電話も聞き取れないほどの騒音がある。石樽峠トンネルが開通すれば今以上に大型車両の通過が見込まれる。開通後の参考にするためにも騒音測定が必要と考えるがいかがか。

【市民部長】 法律により指定地域（都市計画法に定める用途地域で員弁庁舎周辺が指定されている）で、騒音・振動の大きさを測定している。指定地域以外での測定の要望があれば考える。指定地域で基準を超えていれば公安委員会へ措置を要請。指定地域以外では法的対応できないが、基準を超えていれば原因を調査のうえ対応していきたい。





位田まさ子

1. 完成した
員弁西保育園につき合う
2. 新しい員弁西小学校が
よりよい学校になるために

【質問1】 ①東出入口が交通面で危険であるとの声が出ている。園児と保護者の安全対策を早急に図るべきだ。②員弁西保育園の移転により、畑新田地区の園児も通えるのか。また、員弁東保育園の今後は。

【福祉部長】 ①通園時は交通量が多く危ない。そのため、駐車場への進入・退出については、左折のみとするよう、保護者には徹底を図る。②保育園は原則として園区がない。定員に余裕があれば畑新田地区の園児も入ることは可能。員弁東保育園については、今後、園児の大幅な減少などがあれば、そのときに検討を行う。

【質問2】 ①新しく建設される員弁西小学校はガラス張りが非常に多いが、耐久性・安全性などに問題はないか。②教室の暑さ対策として「グリーンカー

テン」の導入を。③特別支援教室が2階に、職員室が1階に。非常時の際、対応できるのか。

【教育次長】 ①建築確認の許可を得ている。耐久性、耐震性に関しては問題ない。また、維持保全費の軽減につなげるため、採光と通風にも考慮した設計となっている。②「グリーンカーテン」は教室内の温度上昇の抑制効果があるため、各学校へも広めていきたい。③多くの児童と交流ができるよう特別支援教室は2階とした。スロープを設けるなどの配慮も加えた設計となっている。



新しい員弁西保育園

川瀬利夫

市の入札制度につき
尋ねる
～地元企業への配慮を～



【質問】 建設工事などの入札は、市外業者も参加できることや実績重視のため、地元業者は公共工事の獲得に苦慮している。地元業者の力を引き出すため、①工事区間の分割化②建築工事における分離発注③地元業者を加えた共同企業体方式の導入を行う考えはないか。④実態のない名前だけの支店や営業所を掲げ、市内登録業者となっている企業があるが、どのような選定処理を行っているのか。

【副市長】 ①今後、工事の規模や業者、地域の状況なども踏まえ「工事規模設定」、「必要な分割化」を行っていきたい。②現在のところ実施していない。今後、専門工種につき、分離発注を行った場合、「地元業者が参加しやすくなり、競争がおきる」となれば、価格面でも有利な調達ができるのでは。この点については、今後検討していきたい。③試行的

な取り組みだが、共同企業体方式による市営住宅の建築工事の発注準備を進めている。今後は、その結果を踏まえ、適用範囲につき検討していきたい。④他市も参考にし、より一層明確な規定の設定をしていきたい。本年度中に「条件付一般競争入札」の試行から始めたい。

【再質問】 当市では、市外業者は法人登記をしていなくとも入札に参加できるため、仕事をしてもらっても市にお金は入らない場合がある。また、近隣の市では地元業者の入札参加を促進するような制度もある。今後は、さまざまな現状を加味し、地元業者の育成と市の発展のため、よりよい入札制度を構築すべきだ。

【副市長】 現在、市内外の業者の区別はしていないが、地元業者の育成にも配慮すべき。他市の動向も見ながら、対応できるようにしたい。



小川みどり

1. 行政改革の具体策は
2. 学校建設予算の
決め方は



【質問1】 バランスシート（財政状態を示した会計報告書）に基づく財政分析により、いろんなことが見えてきた。いなべ市の今後の財政見通しは非常に厳しいと予測するが、行政改革に向けた具体的な対策は。

【企画部長】 合併後、税の収入額が上昇している。これは、いなべ市が企業城下町であるためで、好景気の恩恵を最大限に受けたことによる。しかし、財政は大変厳しい状況に変わりはない。

市民に対し、市の現状を分かりやすくお見せすることが行政改革を進める第一歩と考えている。

さらなる発展のため、市役所の改革にも努めていきたい。

【質問2】 学校の建設資金はどのようにして決まるのか。

【教育次長】 耐震安全性の確保が最大の目標。その際の重要事項は、「常に良好な教育環境を効率的に確保すること」と「社会変化・地域変化への柔軟な対応を考えること」である。これらの課題を達成するため、公立学校施設整備については、さまざまな角度から検討していく。なお、事業費につき、石榑小学校や員弁西小学校の場合は、基本設計の際、建設委員会の意見も踏まえ、実施設計に反映させた。基本設計で事業の概要を決める際には、当然、財政事情も考慮している。



石榑小学校

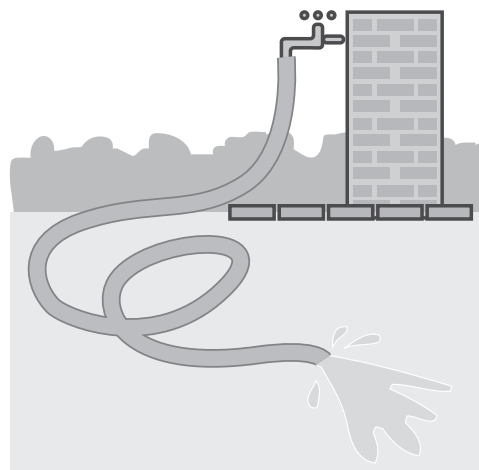
水谷 治 喜

水道使用料と
国民健康保険料の方向性は



【質問】 ①現在、いなべ市の水道使用料は、居住地により2通りの料金体系を取っている。そのため、約2倍の料金差が生じている。1つの自治体の中で居住地により、公共料金に格差があることは、大変不条理なことである。合併後10年以内の早期に統一する旨が合併協議書にも記されている。もうすぐ合併後4年となる。住民に急激な料金改定にならないよう議論すべき時期が来たのではないかと。市民に対しても方向性を示すべきである。そこで市長に尋ねる。「水道料金の市内統一」についてはどのように考えているのか。②市長は合併直後から、水道使用料と国民健康保険料につき、所信表明や、一般質問の答弁において値上を示唆してきた。今年度中に値上げに踏み切るのか。また、市長選挙の選挙公約において、水道使用料および国民健康保険料の料金改定（値上げ）を明確に掲げるつもりか。

【市長】 ①平成18年度、平成19年度の2カ年をかけ「水道基本計画」を策定している。策定した段階で、資料を提示し、議論をいただきたいと思っている。②水道使用料は、近い4年のうちには、値上げをせざるを得ない状況にあることは事実。ついては、地形的なことなども含め、さまざまな状況を示しながら、議員にも相談いただけるような場を持ちたい。





種村正巳

1. 営農支援センターの業務拡充につき問う
2. 障害者の自立支援への取り組みは

【質問1】 営農支援センターは、業務を拡充し、農業行政の一翼を担う方針か。

【農林商工部次長】 営農支援センターの現在の主な業務は、「農地を集落で守る組織づくりの推進」と「農地・水・環境保全向上対策事業への取り組み」である。なお、集落組織づくりなどは、当初の目標に概ね達した。しかし、今後の業務拡大については、いなべ市・東員町・JA・農業共済組合が保有するデータの共有化が個人情報保護の面で問題があるなど、困難である。ついては、JAや東員町と協議をしていきたい。

【質問2】 障害者自立支援法が施行されたが、いなべ市における生活支援や社会復帰に向けた取り組みの状況は。

【福祉部長】 相談については、専門的な知識と経験を要するため、障害者総合相談支援センター「そういん」に委託している。

取り組みとしては、「障害者の地域生活を支えるための活動推進」のため、7月に行政・当事者の会・事業所・ハローワーク・社協・民生委員・医療・教育による「桑員地域自立支援協議会」を設立した。

また、今後は、障害者のための「医療法人北勢会」によるグループホームの整備事業、「障害者活動支援センター」の建設、県単事業として「バンブーハウス」および「たんぼぼ作業所」の増築などによる支援体制の構築とともに、より安定したサービスの提供に努めていきたい。



藤原庁舎内にある営農支援センター

奥岡征士

1. 「地方交付税不交付団体」になったことは喜ぶべきか否か
2. 行政改革集中改革プランの取り組み状況は

【質問1】 市民は「いなべ市が地方交付税不交付団体に」という新聞記事を見て、国からお金がもらえなくなるのではと不安を抱いたのではないが。しかし、一方では税収が伸び、財政状況は非常に良い。これらをどう理解すべきか。また、合併の特典とされる、合併特例債は活用できなくなるのか。

【市長】 不交付団体になった記事は新聞の全国版で掲載された。財政力が上がったことは喜ばしく、「いなべのブランドが少し上がったのでは」と感じている。なお、合併した当市においては、市一本の算定では不交付団体となるが、旧町合算での計算特例が適用されるため、交付を受けることができる状況にある。

しかし、今後については、合併特例債が十分に受けられないという可能性が出てきた。

【質問2】 ①行政改革集中改革本部のメンバーは、全て市の職員であるのか。②補助金適正化への取り組みは大きなテーマである。そこで、スポーツ少年団の団体数および団員数と補助金総額につき問う。

次世代を担う青少年の育成に対する補助金制度の充実を願っている。

【企画部長】 ①推進本部は、市長をはじめ市の職員であるが、大学教授・有識者、民間企業、市民の代表による「行政改革推進委員会」において行政改革の進め方につき、広く意見をいただく。

【教育次長】 ②スポーツ少年団は40団体で約1,200人。なお、平成18年度の補助金は体育協会を通じ375万円を交付。配分は大会の事業費などを基に行っている。





水貝 一道

旧4町間の格差是正は
進んでいるのか

【質問】 ①現在直面している地域格差の問題はあるのか。②水道使用料の統一化に向けての日程は。③農道の補修整備などの地元負担は2割負担となっているが、大安町については合併前に多くの農道を町道に認定したようである。市内全域でのバランスを整えることが好ましいと考えているため、旧町別に市道と農道の割合を示してほしい。

【市長】 ①地域の特性・伝統・文化を尊重し、過去の経緯も踏まえながら緩やかに改革していきたい。ふるさと保全事業や自治会の防犯灯の電気代処理などの議論があったが、年限を区切って統一化を図っていく。②現在、「水道基本計画」の策定を行っている。そのため、策定した段階で議論をいただきたいと思っている。

【市長、農林商工部次長】 ③市道と農道の割合は、

北勢町が市道71.9%、農道28.1%。員弁町は市道73.7%、農道26.3%。大安町は市道98.5%、農道1.5%。藤原町は市道76.1%、農道23.9%である。大安町は合併前ではなく、「ほ場整備」が完了し、町に移管する際、地方交付税の関係で町道に認定した。

【再質問】 大安町以外の市道は70%台である。農道の中には、地域間の連絡道路として利用している道路もあるが、これらの整備も地元負担か。

【市長】 現在、農林商工部において整備をしているのは、主に用水(側溝)で、地元から負担金をいただいている。しかし、農道の抜本的な整備については市道に認定した上で行っており地元負担はない。



下笠田地内の農道

衣笠 民子



1. 老朽化した保育園の
建て替えを
2. 自治会未加入世帯へも
広報誌の配布を
～7月に郵送廃止～

【質問1】 ①保育園(保育所)の耐震調査は行っているのか。また、進捗状況と今後の実施予定は。②かなり老朽化している保育園(保育所)がある。順次、建て替えが必要だが、どのような予定か。③丹生川保育園(昭和49年建設)は、建て替えが必要として、平成14年に土地開発公社にて土地を取得済みである。補助金を受けられるよう模索すべきだが、不可能なら、市の単独予算でも早急に建設すべきではないか。

【市長】 ①建て替えが具体的にになったときに行ってきた。②十社保育所(昭和49年建設)、阿下喜保育所(昭和50年建設)、山郷保育所(昭和52年建設)は、それぞれの地区の幼稚園と統合し、5歳児までの保育所として建て替える予定。笠間第2保育園(昭和51年建設)は、平成22年度以降に笠間第1保

育園と統合し、建設する予定。③合併特例債が利用できる方法を模索して、建設したい。

【質問2】 ①自治会を通じて広報誌(情報誌Link)を配布するための年間世帯当たりの費用は。②郵送の年間世帯当たりの費用は。③自治会未加入世帯のうち、希望者は郵送していたが、どうして7月より郵送廃止したのか。

【市長】 ①3,000円。②約2,500円。③不便を感じてもらうことによって、自治会への加入を促進するためである。ただし、未加入世帯へも1,500円の委託料で自治会から配布を行っている。



新しい丹生川保育園の建設予定地(丹生川中地区内)



伊藤 和子

1. 学童保育に対する支援を
2. 未婚男女の
出会い交流事業を

【質問1】 現在、市内4カ所に学童保育所があるが、山郷校区には学童保育所がない。そのため、治田地区までの送迎が必要である。しかし、人と車の不足により、学童保育所が入所を断っているケースがある。

早期に山郷校区への学童保育所の設置とそれまでの間の送迎の支援を求める。

【市長】 大きな校区に1つは要する。そのため、山郷校区の中につくれるような施策が早急に必要であると感じている。「山郷幼稚園」と「山郷保育所」は、平成21年4月に一体化の上で新設する予定である。それにより、現在の「山郷保育所」が空くため、学童保育に使っていただくことができる。

なお、送迎に必要な補助金の支援については、可能であると考えているので検討していきたい。

【質問2】 北勢線対策室は、北勢線活性化事業の一つとして、今年の10月7日、『小さな電車で大きな恋の物語』と題して、未婚男女の出会いの場を企画された。結婚が増えなければ、少子化問題はますます深刻になる。結婚を増やすためには、出会いが必要。少子化対策の一環としても、ぜひ、市が『未婚男女の出会い交流事業』を主催し、取り組むべきと考えるがいかがが。

【市長】 未婚者の増加が少子化に拍車をかけているという意見がある。北勢線対策室の企画は素晴らしいと思う。しかし、市がこのような事業に取り組むことは難しい。民間事業への支援ということであれば、新たな補助制度を積極的に考えていきたい。



学童保育所への送迎

石原 瞭

1. 後期高齢者医療
～平成20年4月にスタート。
市としてどう臨むのか～
2. 介護保険制度改悪から1年が経過
～介護予防事業などは
効果を上げているか～

【質問1】 来年4月から、75歳以上の人を対象とした医療制度がスタート。保険料は年金から天引きされる。いなべ市で、新しく保険料の発生する方は何人みえるのか。市長は「三重県後期高齢者医療制度広域連合議会」の、いなべ市選出議員でもある。議会にはどのような思いで臨むのか。制度変更を市民に周知すべきでは。

【市民部長】 75歳以上と65歳以上の障害者が対象者で総数は約5,300人。そのうち、新たに保険料負担が発生する方は約1,400人。制度変更については、情報誌「Link」などで周知を図る。

【市長】 減免制度については、できるだけ実態に即したものにさせていただくよう要望していきたい。

過度な料金体系にすれば、市の滞納率がアップする。負担可能な範囲になるよう努力をし「資格証」の

発行をしなくても済むような形にしていきたい。健康診査については、十分に受けていただき、事前に悪い点を治療に結びつけられるような制度になるよう心掛けていく。

【質問2】 「介護の取り上げ」は起こっていないか。「要支援」・「要介護認定者」はどう変わったか。「地域包括支援センター」・「介護予防事業」は効果を上げているのか。利用者と高齢者の負担軽減を。

【福祉部長】 市は介護予防事業として、「生きがいデイサービス」・「青空デイサービス」・「元気づくり体験」などを委託。「生きがいデイサービス」・「元気づくり体験」については、各地域に出かけて行う「出前方式」も取り入れている。





清水 保次

地震対策は万全か
～新潟中越地震を教訓とした
市の取り組みは～

【質問】 ①地震により、家屋が全壊した場合、公費よりどれほどの補助が出るのか。②個人の住宅の耐震化を進めるため、市としての取り組みは。③震災に遭った場合、上水道の被害を最小限とするには。

【福祉部長】 ①国の制度として「災害救助制度」と「被災者生活再建支援制度」がある。「被災者生活再建支援制度」では、生活関係および居住関係に対する経費の支給を受けることができる。ただし、支給限度額が定められている（生活関係経費37.5万円～100万円、住居関係経費37.5万円～200万円）。

県の制度は発生したときに定めるため、恒久的なものはない。

市の制度としては、「災害援護資金の支給」と「負傷や住宅・家財に被害のあった世帯主への資金貸付」がある。

【建設部長】 ②国・県の補助を受け、「木造住宅無料耐震診断事業」と「木造住宅耐震補強工事費補助事業」を実施している。窓口は大安庁舎内の住環境整備課。なお、「木造住宅無料耐震診断事業」の実績は、平成16年から平成19年度申し込みまでで123件。

【水道部次長】 ③飲料水の確保がしやすくなるような対策を進めている。また、緊急時に備え、市内の建設業者および水道業者と「災害水道施設復旧協定（仮称）」が結べるよう取り組んでいきたい。



よく使われる議会用語

一般質問 議員が行政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して質問を行うことです。いなべ市では、質問時間を答弁と併せて1時間と決めています。

議案 議会の議決を得るために提出する案件のことです。

発議 議員が議案を提出することをいいます。

上程 議案などを議事日程に組み入れて議題とし、審議の対象とすること。議題とする旨の宣告は議長が行います。

質疑 議案について、賛成・反対の判断を下すため、不明な点や詳しく知りたい点を質すことです。

討論 議題となっている案件に対して賛成・反対の立場で自分の意見を述べることをいいます。討論は採決の直前に行います。

採決 出席した議員（委員）に案件に対する賛成・反対を問い、可否を決定する行為をいいます。

請願 住民が議会に対し、「～してほしい」と文書によって希望を述べるものです。提出するには紹介議員が必要です。

意見書 国会または関係行政庁に対し、「～してほしい」、「～したほうがよい」というような議会の意思をまとめた文書。議会には提出権があります。

9月定例議会

こんなことが決まりました

☆平成18年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の決算を認定

一般会計と特別会計の決算は次のとおりです。

	決 算 額		歳 入 歳 出 差 引 額(円)
	歳 入 (円)	歳 出 (円)	
一 般 会 計	205億5,630万8,631円	189億4,192万172円	16億1,438万8,459円
特 別 会 計	128億4,824万9,330円	122億7,935万9,595円	5億6,888万9,735円

特別会計 ①住宅新築資金等貸付事業 ②農業公園事業 ③国民健康保険 ④老人保健 ⑤介護保険 ⑥農業集落排水事業
⑦下水道事業 以上、6つの特別会計の合計です。

☆平成19年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の補正を可決

一般会計補正うち、歳出の主なものは次のとおりです。

市民活動支援センター費	314万7,000円	ボランティア活動を支援するセンターの設立に向けた経費。設置場所は、員弁庁舎西の「員弁健康センター」の2階。
いなべブランド発信事業費	860万9,000円	インターネットを利用した「いなべ市の特産品」のPR事業費
妊婦の健康診査費用の助成金	540万円	妊娠中に受診する健康診査費用の助成を2回から5回に拡大するための経費。(2回は従前どおり国が助成。3回目からを市が単独で助成することに。10月1日から)。
古紙回収倉庫購入費	701万3,000円	自治会内に設置する「古紙回収用の倉庫」の購入費で10自治会分を計上。収集は古紙回収業者に。
農業用水路・農道の整備工事費	3,450万円	自治会要望に基づき行う工事費の補正。
ガードレール、道路標識、カーブミラーにかかる費用	550万円	交通安全対策にかかる要望に基づき設置。

☆熟人荘のパークゴルフ場の使用料が変わりました ～平成19年10月1日から～

9ホールを増設し18ホールになったため、1ラウンド1日1回300円を500円にするなどの改正を行う。

☆大井田西部地区公園（2ヵ所）を設置し、管理を行う条例を制定

①水辺の里公園（大安庁舎沿いの宇賀川南側）②里池公園（大井田溜の下）

防火用水機能、景観や自然環境の保全機能を持つとともに、学習などの場としても利用できます。



水辺の里公園



里池公園

委員会の活動報告

総務常任委員会

付託案件の審査 9月18日（2議案）

- 平成19年度一般会計補正予算（第3号）のうち、総務常任委員会の所管（全員賛成）
○平成18年度一般会計歳入歳出決算認定のうち、総務常任委員会の所管（全員賛成）

委員会での質疑

市民活動支援センターの設立

- Q** 事業の内容と場所は。
A NPO法人やボランティア団体などの情報交換および情報提供の場となる。正式な運営は平成19年4月からを予定。場所は、員弁庁舎西の「員弁健康センター」の2階。

いなべブランド発信事業費

- Q** 860万9,000円計上された。インターネット上の

仮想空間の中に「アンテナショップ」を建設し、いなべ市をPRしていくということだが、効果は見込めるのか。

A 初めての試みであるため、1年間行って、その効果を見定めたい。

Q インターネット上の仮想空間で何を販売するのか。

A 直接の物品販売はしない。農業公園のホームページの販売サイトにつなげることを考えている。

産業建設常任委員会

付託案件の審査 9月18日（11議案）

- いなべ市大井田西部地区公園の設置及び管理に関する条例の制定について（全員賛成）
○平成19年度一般会計補正予算（第3号）のうち、産業建設常任委員会の所管（賛成多数）
○平成19年度農業公園事業特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）
○平成19年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）
○平成19年度水道事業会計補正予算（第1号）（全員賛成）
○平成18年度一般会計歳入歳出決算認定のうち、産業建設常任委員会の所管（賛成多数）
○平成18年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定（全員賛成）
○平成18年度農業公園事業特別会計歳入歳出決算認定（全員賛成）
○平成18年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定（全員賛成）
○平成18年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定（全員賛成）
○平成18年度水道事業会計決算認定（全員賛成）

委員会での質疑

土砂災害情報システム

- Q** 補正予算で計上されたが、どのようなシステムか。
A 土砂災害の危険性にかかる情報強化のためのシステムである。このシステムは藤原庁舎と員弁庁舎に設置されている。

猿害対策

- Q** 「サル接近警戒システム」を藤原町の山口地区で活用しているということだが、その効果は。
A 今のところ、はっきりした効果は出ていない。今

後も地元の皆さんで取り組んでいただくことが大切。効果が認められれば広めていきたい。

ぼたんまつりの入場者（藤原町の農業公園）

Q 入園料として616万9,000円の収入があったということだが、開園日数と入場者は。

A 入園料をいただいたのは期間中の6日間。その間の入場者は約1万4,500人。その前後を含めれば約2万人が入場。

教育民生常任委員会

付託案件の審査 9月18日（7議案・3請願）

○いなべ市老人福祉センター等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

（可否同数のため、委員長裁決により採択すべきものとなる）

- 平成19年度一般会計補正予算（第3号）のうち、教育民生常任委員会の所管（全員賛成）
- 平成19年度介護保険特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）
- 平成18年度一般会計歳入歳出決算認定のうち、教育民生常任委員会の所管（賛成多数）
- 平成18年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定（全員賛成）
- 平成18年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定（全員賛成）
- 平成18年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定（賛成多数）
- ☆義務教育費国庫負担制度の存続と負担率2分の1への復元を求める請願（全員賛成）
- ☆30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充を求める請願（全員賛成）
- ☆学校安全法（仮称）の策定をはじめとする、総合的な学校の安全対策を求める請願（全員賛成）

委員会での質疑

熟人荘のパークゴルフ場

Q 1ラウンド大人1回300円を500円に改正するについては、利用者からの反対が多い。明確な改正理由を示してほしい。

A 18ホールになったため、本来は倍額600円のところであるが、500円で設定した。藤原町の農業公園のパークゴルフ場と比較すれば、レクリエーションと老人福祉と名目は異なるが、双方とも高齢者対策も掲げた上でつくった施設である。なお、使用料については、藤原町の農業公園のパークゴルフ場や他市の類似施設の料金も参考にした。減免に関しては、老人会行事などでの使用につき考えていきたい。今後、もし、指定管理者制度に移行したならば、料金体系が変わることもありうるであろう。

Q 地元の理解は得られたのか。

A 地元自治会と老人クラブに対し、説明を行った。その際には、特にご意見もなかった。そのため、理解を得たという思いでいる。

し尿・汚泥処理負担金

Q 平成18年度決算において、桑名・員弁広域連合へのし尿・汚泥処理などにかかる負担金は7,664万3,942円であった。平成17年度に比べ、倍増しているが、その理由は。

A 1点目には公債費の償還額が増えたこと。2点目

には、し尿・汚泥の計画処理量が1日当たり12.9キロリットルであったが、実績が倍ほどの量になったことである。

教室に空調設備のある学校の電気代

Q 電気代は著しく高くなるのか。

A 石榑小学校と藤原中学校の電気代が高くなっている理由は、新しく建て替えたことにより、電気設備が以前に比べ多くなっている。そのため『キュービクル』という高圧受変電設備を大きくする必要がある。大きくすれば基本契約料が上がる。そのため、新しく建て替えた学校については、電気代が増えるといった現象が生じる。

介護保険料

Q 平成18年度決算において、保険料の総額が約1億円多い。その理由は。

A 介護保険事業にあつては、平成18年度から平成20年度にかけ、国の第3期事業計画の期間となっている。そのため、この3年間に付き、保険料の設定をさせていただいた。金額は、基準額が3万6,120円。1ヵ月当たり3,010円ということで、それまでの2,370円に比べ増額となったことが大きな原因である。また、高齢者の増加も影響している。さらには、税制改正に伴い、保険料支払の区分が変わったことも、少なからず影響があると思っている。

※本会議における採決の結果は、19ページの「議案の審議結果一覧表」をご覧ください。

反対 VS 賛成

討論の内容は以下のとおりです。採決の結果は19ページの「議案の審議結果一覧表」をご覧ください。

議案第48号「いなべ市老人福祉センター等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について」

北勢高齢者等研修施設「熟人荘」の使用料の一部を改正するための議案。内容は、パークゴルフ場9ホールの増設工事が完了し、10月にオープンするに伴い、1ラウンド大人1人1回につき300円を500円に改正するなど。

反対討論①

改正には、利用者からの強い反発がある。値上げは、わずかなように見えるが、決して見過ごすことができない額である。

藤原町の「農業公園パークゴルフ場」と同格にするということだが、「農業公園パークゴルフ場」は、公認コースとなっており、設備面やロケーションも素晴らしい。そのため、福祉目的としてつくられた「熟人荘のパークゴルフ場」とは同格にはならない。利益を追求する施設ではなく、お年寄りの方に利用いただき、健康増進や介護予防につながれば市としての願いにかなう。いきなり、10月1日からの値上げではなく、利用者の実態や要望も十分取り入れ、運用の適用なども考慮して決めるべきである。



熟人荘のパークゴルフ場

反対討論②

北勢高齢者等研修施設「熟人荘」は、福祉施設であるため、これ以上の利益を求めなくてもよいと考える。今後は、たくさんの方が利用いただけるようにし、その動向を見ながら料金を考えていくべきである。

賛成討論①

使用料については、受益者負担の適正化の観点から、市内や近隣市町の同規模施設の利用料も参考にし、提案されたものである。いなべ市の「行政改革大綱」の忠実な遂行と「健全な財政基盤の構築」を進める上からも、本改正案が納税者全般の理解が得られるべきものとし賛成する。

賛成討論②

北勢高齢者等研修施設「熟人荘」に対し、市は多額の補助を行っている。

藤原町の農業公園のパークゴルフ場と同等であることや9ホールを増設し18ホールになった点も踏まえ、本改正案に賛成する。



農業公園のパークゴルフ場

議案第49号「平成19年度一般会計補正予算（第3号）」

歳入・歳出ともに11億8,913万6千円の追加で提案。予算総額は198億8,655万1千円に。

反対討論

好調であった平成18年度の決算を受け、妊産婦検診費用の市単独による補助の拡大や自治会要望を多く実現させるための補正予算が組まれたことは評価できる。しかし、必要度の低い「平塚3区339号線」の道路改良事業にかかる補正予算には賛成できない。道路改良事業費は、国からの補助があろうとも高額となり、市の財政を圧迫する。生活道路の整備は必要だが「平塚3区339号線」は三里駅から総合福祉センター用地と呼ばれる土地を廻り込み、員弁川方面へ向かう道である。対岸から国道421号線へとつながる道と合わせ「地方道路整備交付金事業」といわれるものの一つで

ある。しかし、肝心の員弁町ルートは未だに決まっていない。員弁町ルートと大安町ルートを結ぶ橋は本当に実現するのであるうか。そんな中でどんどん進めていく「平塚3区339号線」の道路改良事業費の計上には、はなはだ疑問である。

賛成討論

自治会要望を踏まえた補正は、市民との約束を実行するための予算であり、当然のことである。また「平塚3区339号線」は、いなべ市が基幹道路として、将来、発展するためには必要な道路である。以上のことなどからも本補正予算案は妥当と認める。

認定第1号「平成18年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定」

平成18年度一般会計の決算額は、歳入が約205億円。歳出が約189億円。なお、実質収支額は、翌年度に引き続いて事業を行うための繰越財源を控除するため、約15億円の黒字となりました。

反対討論

現在のいなべ市は、財政が好調であるが、市の将来を考えるならば、真に無駄なものを徹底的に洗い出す必要がある。

決算を見れば「野入溜」への借地料として、1つの自治会に対し、年間1千万円という過大な支出を行っている。また、阿下喜温泉は、福祉目的で建設したにもかかわらず、指定管理者により管理・運営が行われるようになった。しかし、その過程においては、営利企業に委託することに対し、指摘を行ってきたところである。そのため、阿下喜温泉に関する決算についても認められない。

さらには、小学校の新入生への机・椅子の購入は、現場からの要望ではない。「平塚3区339号線」の道路改良事業は、議案第49号の討論で述べたとおりである。以上の理由により反対する。

賛成討論①

市は市民との約束を実行する義務と責任がある。当然、平成18年度も約束に従い、予算どおりの事業を実施された。職員各位の努力に敬意を表するとともに、今後も事業の推進にまい進することを願い、本議案に賛成する。

賛成討論②

企業城下町である当市は、好景気の恩恵を受け、自主財源が約127億円にのぼり、歳入の61.8%を占めている。平成17年度に比べ、約16億8千万円の増となった。依存財源は約79億円で38.2%。平成17年度に比べ、約11億円の減少である。私が評価するのは、市債が平成17年度と比較し、約12億円の減となり、約18億円であったことである。その他では、当初の予算編成時から常に配慮して取り掛かっていただいた結果、予算現額と支出現額との構成比率に差がなく、予算額に対する執行率は94.9%となっている。また、実質単年度収支は6億円の黒字であった。以上の点などを踏まえ賛成する。

認定第6号「平成18年度いなべ市介護保険特別会計歳入歳出決算認定」

歳入・歳出ともに1億4,265万円の追加で提案。予算総額は22億935万円に。

反対討論

決算額を平成17年度と比べれば、実際に介護保険の認定者のために使われた保険給付費は、約2千万円増えているだけである。しかし、保険料は約9千万円も増えた。これは、保険料を月額2,370円から3,010円（基準額）に引き上げたことにある。収入が増えないのに年金から天引きされる額が大幅に増加し、暮らしをますます圧迫することになっている。こうしたこ

とは、介護保険の利用者が増えたことも一因だが、制度変更にも本当の原因がある。

介護保険の内容は、さらに悪くなっており、介護の取り上げが進んでいる。いなべ市として、市民の実態を直視し、文字どおり住みやすいいなべ市となるよう、市単独の制度なども近隣の市町に遅れを取ることをしないよう生み出していただくことを要望し、反対の討論とする。

発議第7号「道路財源の確保と地方への配分強化を求める意見書の提出」**反対討論**

道路特定財源は、国・地方を合わせて約6兆円の財源である。これほどの財源を道路建設のみに限定してきたため、社会保障や地方への財源は削られる一方である。必要な道路整備も進んだが、税収が入った分だけ道路をつくるという構造のため、必要度の低い道路建設も行われている。「平塚3区339号線」は、最たる例ではないか。こうした構造が地方の財政をも圧迫する原因となっている。

今後は、道路特定財源が一般財源化され、社会保障財源の充実、地方財源の確保がなされることを望み反対する。

賛成討論

地方においても整備を行わなければならない道路がたくさんある。「平塚3区339号線」も、いなべ市の基幹道路として必要な道路である。そういったことを充実させるため、道路財源の確保を継続されることを望み賛成する。

トピックス

議会にかかわる 「まちの話題」を紹介します

水辺の環境保全を目的に いなべ 湧くわく水サミットを開催
～10月6日、大垣市などが共催～



俳優の中本賢氏を交えてのパネルディスカッション。
当日は、中本氏と森誠一岐阜経済大学教授との対談や地域活動報告などがありました。（いなべ市中央公民館にて）



水辺の里公園では、ガラス越しに川の中の魚（アブラハヤ、オイカワ、カワムツなど）を観察することができます。
宇賀川に架かる大安大橋の南詰を右折したところにあります。

熟人荘パークゴルフ場の 新コースがオープン



10月1日に行われたオープン式で挨拶をする小川議長



新コースは9ホール。従来の9ホールに加え、18ホールとなりました。

石樽峠トンネル（国道421号） 工事現場を視察

～9月19日、いなべ市議会議員～



業者から説明を受ける議員。右前方がトンネル入り口。



9月19日現在、約800mの掘削。

新しい員弁西保育園が開園
～員弁西保育園と員弁中保育園が統合～

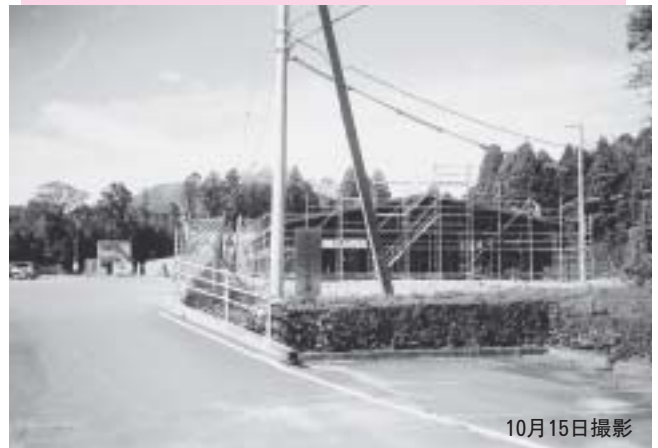


9月に開園した新員弁西保育園。複数の担任による「異年齢児保育」が取り入れられています。



広い敷地で行われた運動会。元気いっぱいダンスをする園児たち。

建設が進む
障害者活動支援センター（仮称）



10月15日撮影

利用者の自立に向けたサービスの確保に向け建設する障害者活動支援センター（仮称）。場所は大安町の中央公民館の西。完成は平成20年1月末の予定。

米原市議会の広報対策委員が視察に



挨拶をする滋賀県米原市議会の広報対策委員長。当日は質疑を受け、意見交換などを行いました。（大安庁舎にて）

委員会の付託審査を省略し、本会議で審議を行った議案

9月27日（9月定例議会最終日）に追加議案として提出された以下4議案の審議を行いました。

- 「義務教育費国庫負担制度の存続と負担率2分の1への復元」に関する意見書の提出（全員賛成）
- 「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める意見書の提出（全員賛成）
- 「学校安全法（仮称）の策定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求める意見書（全員賛成）
- 道路特定財源の確保と地方への配分強化を求める意見書の提出（賛成多数）

総括質疑

案件の審査を委員会に付託する前の本会議（9月14日）において、案件に対する総括質疑を行いました。質疑を行った議員は以下の4人でした。

①小川みどり ②衣笠民子 ③川瀬利夫 ④石原 瞭

いなべ市議会だより



市民の声

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見や感想を紹介します。

◎ 「議会だより」を毎号拝読しています。写真やイラストで分かりやすく読みやすいです。議員の質問や答弁には、議員の住所(〇〇町〇〇)を記入いただくととても助かります。

◎ 議会の開会日は、平日ではなく日曜日にされてはいかがでしょうか。市民も参加しやすいと思うのですが。 56歳 女性

◎ 議会をCTY(いなべ10)等で放送しないのですか。 34歳 男性

◎ 視察研修で学んだことや議会のあり方など、住民のために、分かりやすい紙面づくりを行ってほしい。 男性

◎ 議会傍聴を希望していますので、議会日程なども詳しく知らせしてほしい。 女性

◎ 議員さんの写真入りなので、よく分かります。研修を市のために生かしてください。 62歳 女性

◎ 「議会だより」をいつも読んでいます。いろいろ大変だと思いますが、市が少しでも良くなるよう、よろしくお願いします。 78歳 女性

◎ 一般質問で同じ内容の質問をするのは無知無用であると思う。もっと地域の実情に応じた対策を検討し、質問を改善してほしい。 85歳 女性

◎ 『市民のため』を心をお願いします。 44歳 男性

◎ 員弁町のコミュニティバスには人が乗っていません。路線・時間を組み替えてはどうでしょうか。「いなべ総合病院」を含め、すべての病院へ行くことができ、帰りも含め、効率的にしてほしい。ムダが多すぎると思います。 56歳 男性

◎ 老人の年金格差が大きすぎる。国民年金の人が他の制度の人よりも少なく、老人会の付き合いにも支障があります。年金の一元化を。 56歳 男性

◎ 地震などのときに、地域で助け合えるような活動をもっと考えてほしい。 48歳 女性

◎ 「下青川橋」を早く通れるようにしてほしい。工事の期間が長すぎて不便です。 67歳 女性

◎ 私たちが選んだ議員さんの一般質問が分かり、毎回、心待ちしています。 70歳 女性

◎ いつも一般質問のところを楽しく読ませていただいています。いなべ市への希望が自分の思っていることと同じなので、それを早く実現してほしいと思います。今後も「議会だより」の発行を楽しみにしています。 25歳 男性

◎ 高齢者のため、他から耳にすることができないことが「議会だより」から知ることができ、大変ありがたいです。理解できていない部分もありますが…。 67歳 女性

◎ 「議会だより」をいつも拝見しています。いなべ市のため、議員の方が頑張って『良い いなべ市』になるよう祈っています。 65歳 女性

◎ 毎号、楽しみにしております。「Link」も、すみずみまで読みますが、「議会だより」も、すみずみまで読ませてもらっています。いなべ市のことがよくわかる気がします。 41歳 女性

◎ 議会を身近に感じられる分かりやすい「議会だより」です。いなべ市民のため、これからも真剣に取り組むよう頑張ってください。 62歳 女性

◎ 創刊号から14号までを綴りにして保管。一般質問を時々読み、市政がどう変わっていくか、興味を持って読ませていただいています。しかし、一般質問をしない議員さんがみえるのはどうしてですか。不思議ではありません。支持者はどう感じてみえるか疑問です。 58歳 女性

◎ いなべ市議会には、5人の女性議員がみえます。どここの家庭でも財布の紐は固く、節約に努めています。自分本位でパフォーマンス的な発言が多く感じられます。住民の負担を軽減する発言、たとえば、議員削減や給与の値下げの発言があると、さすが女性の代表と思いますが、少し残念なところを感じられます。 25歳 女性

◎ この「議会だより」は、分かりやすく作成されており、読みやすかったです。議会に興味がなかったですが、この議会だよりで、より身近に感じました。「素晴らしい いなべ市」になるように願っています。
47歳 女性

◎ 議員の方が「素晴らしい いなべ市」にするために、いろいろと質問されてみえる様子が分かり、少しですが、議会に関心を持ちました。
15歳 男性

◎ 「議会だより」を読むことにより、行政の内容を分かりやすく知ることができます。広報委員の方々は大変でしょうが、継続してください。
67歳 女性

◎ 活字が大きく読みやすい。また、写真で知るトピックスのコーナーもいいです。
60歳 男性

◎ 「リサイクルごみ」について基準がわかりにくい。もう一度、市の広報誌で啓発してほしい。
63歳 女性

◎ 毎回、いろんな面で勉強になります。
52歳 女性

◎ これからも、親しみやすい「議会だより」を届けてください。
35歳 女性

政治家の寄付行為は法律で禁止されています

いなべ市の議員一同は、住んでよかったと感じていただけるような「いなべ市」となるよう、法を遵守しつつ、議員活動を行っています。

市民の皆さんとの関わりは大切ですが、公職選挙法により寄付行為等が禁止されていますので、ご理解を賜りますよう、お願いを申し上げます。

禁止事項の例

- 自治会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ
- 祭りへの寄付や差し入れ
- 地域の行事やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
- 病気見舞い
- お中元やお歳暮
- 入学祝、卒業祝
- 葬式の花輪、供花
- 時候の挨拶状（ただし、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものは除く） など

議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件

～下記以外の18案件（議案5・認定7・請願3・意見書3）は全会一致で可決～

議長 小川克己は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対 退は退席 付託委員会(総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会)

議 席 番 号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
議 案 名	付託委員会	審議結果	小林 昌彦	川瀬 利夫	近藤 幸洋	城野 正昭	岡 英昭	小林 俊彦	鈴木 順子	伊藤 和子	衣笠 民子	位田まさ子	川崎智比呂	藤本 司生	種村 正巳	林 正男	水谷 治喜	伊藤 弘美	奥岡 征士	清水 保次	小川みどり	水貝 一道	出口 正	小川 克己	太田 政俊	石原 瞭
いなべ市老人福祉センター等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	教	可決	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	—	退	×
平成19年度一般会計補正予算（第3号）	総・教・産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×
平成18年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定	総・教・産	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×
平成18年度いなべ市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	教	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×
道路財源の確保と地方への配分強化を求める意見書の提出	なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×

クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は、 **問1** 9月 **問2** 一般(質問) **問3** 人権尊重(のまち宣言)

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

鍋 坂	藤川 明美 様	南 金 井	岩野 清美 様
下 平	佐藤 弥生 様	楚 原	今井 律子 様
西 野 尻	中 村 実 様	北 金 井	種村 和春 様
下 笠 田	市川美智子 様	南中津原	伊藤美智枝 様
南中津原	伊 藤 了 様	楚 原	大橋 春生 様
楚 原	永田 幸大 様	鍋 坂	藤川キミ代 様
西 町 1	近藤美弥子 様	北 金 井	種村 郁哉 様
北 金 井	種村 祐紀 様		

応募いただいた「ハガキ」にご記入いただいた個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

広報特別委員会 視察研修

読みやすい広報誌づくりを目指して、先進地である2つの市を視察しました。

愛知県日進市を訪問

(8月2日)



日進市議会の広報委員とともに

「日進市議会だより」に掲載の各議員ごとの採決の賛否が分かる「議案の審議結果一覧表」は、早速、今号で取り入れました。
(19ページ)

石川県加賀市を訪問

(8月3日)



加賀市では、紙面のレイアウトなどを学びました。今後の編集に役立てていきます。

編集後記

今号は9月定例議会の報告です。9月議会は「昨年度の決算を審議する」ということが大きな役目になっています。決算は、既に執行された過去のことでありますが、いなべ市の姿が見えてきます。議会では、決算の結果を踏まえ、これから住民生活を支えるどんな施策ができるか、具体的な提案につなげていきたいと思えます。

また、住民の皆様の声をもとに、いつも以上に活発な議論が行われました。そのような様子を、ぜひ「議会だより」でご覧ください。

広報特別委員会の委員の任期は1年なので、このメンバーでお届けするのは最後になります。研修をもとに紙面の改善を行ってきましたが、皆様と議会がより近いものとなっていたら幸いです。

12月定例議会(予定)

- ◇開会日……………12月 4日(火)
- 一般質問……………12月 6日(木)
- ……………12月 7日(金)
- 総括質疑……………12月11日(火)
- 常任委員会…………12月11日(火)
- ……………12月12日(水)
- ◇閉会日……………12月18日(火)

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL (0594) 78-3515 / FAX (0594) 78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>